

2019年1月1日発行  
第73号

**あひる**

和光市青少年育成推進委員会  
教育委員会事務局 広報担当発行  
スポーツ青少年課青少年担当 ☎424-9082

## 青少年育成推進委員会とは？

青少年埼玉県会議が委嘱をするボランティア団体です。平成30年度は地域代表8名、学校代表27名の計35名で活動をしています。

### 活動内容

- ① 青少年をまもる店の協力店訪問及び新規協力店舗普及活動
- ② 優良図書などの利用宣伝及び有害図書の追放(図書マップの作成)
- ③ 広報紙に特集ページ「あひる」の掲載
- ④ 講習会・情報交換会の開催
- ⑤ 地域における青少年健全育成の環境整備(市、市民会議主催の事業協力)

### 青少年育成推進委員会の歴史

昭和40年「和光市良い本を読む会」を発足  
昭和43年「和光市良い本を読む運動推進委員会」発足  
昭和50年 図書等自動販売機設置台数過去最大(市内に18台)  
昭和54年「和光市青少年の環境浄化委員会」に名称変更  
昭和60年「和光市青少年育成推進委員会」に名称変更、  
広報「あひる」発行開始  
昭和61年「青少年をまもる店」協力店指定を開始  
…  
平成30年3月現在  
図書等自動販売機0台を遂行中、  
「青少年をまもる店」協力店167店(平成29年度実績)

## ご存知ですか? 「青少年をまもる店」

お店の立場で、子どもたちの健やかな成長を見守ります。

- ① 子どもたちに悪影響を及ぼす恐れのある商品の販売はしません。
- ② 非行のきっかけとなるような子どもの行動を見守っています。
- ③ 子どもが怖い目にあった時や困ったことがあった時は協力しています。

### 実際の様子を伺いにいきました

青少年育成推進委員会では、協力店を一軒ごとに全て訪問し、地域での青少年の状況を把握するとともに、青少年が健やかに育つように、お店の立場から協力していただけるようお願いするために、毎年訪問活動を行っています。今年度も協力店の方々に子どもたちの購買行動や各地域の様子などのお話を伺ってきました。



※この活動は、青少年育成和光市民会議及び朝霞警察等のご賛同もいただいているものです。

### 「お店の人に伺いました! 青少年の様子! お店の見守り」(一部抜粋)

#### ■ 青少年・子どもたちの様子

- 青少年の行動で良かった点 ▶ 挨拶がきちんとできる、店内のゴミを拾う
- 青少年の改善してほしい点 ▶ 店内を走り回る、自転車のスピードをだしすぎている

#### ■ お店の青少年の見守り活動について

- 登下校時に挨拶を見守りしている
- 酒・タバコ販売の際の年齢確認

#### ■ 万引き対策・対応について

- 警察を呼ぶ前に保護者を呼び指導している
- 入店時の声かけ

### 訪問調査をした推進員の感想

推進員の一人として協力店に実際に足を運び、お店の方のお話を聞き、子どもたちの様子を知るいいきっかけになりました。親の目の届かない所でも、こうして地域の方々なお店の方が常に子どもたちを見守ってくれていることを再認識することができ、安心しました。この和光市独自の見守り活動を新しいお店の方にも協力頂いて、市全体で子どもたちの安全と健全に取り組んでいくことができれば素晴らしいことだと思います。

#### 協力店の目印▶

「青少年をまもる店」協力店としてご協力いただいているお店の皆様、訪問調査にご協力いただき誠にありがとうございました。



## いじめ撲滅のために保護者の立場でできること ワークショップ開催

青少年育成推進委員会では平成30年9月12日(水)、市役所502会議室で「いじめ撲滅のために保護者の立場でできること」ワークショップを開催しました。

### ワークショップの流れ (4つのグループで実施)

- ① 身近でおきたトラブルを各自黄色い付箋に記入



- ② ①の黄色い付箋をグループ内で共有
- ③ 身近でおきたトラブルへの対応策を各自でピンク色の付箋に記入
- ④ ③の対応策のピンクの付箋をグループ内で共有



- ⑤ グループでおきたことを、全体で発表し、課題や対応策を共有



### 身近で起きたトラブル事例(黄色付箋)

#### 悪口

- 容姿について
- 身体的成長の発達について
- 特定の子をみんなで馬鹿にする 等

#### コミュニケーション関係

- 放課後や休み時間遊びに参加しようとしたら、なんで来たのかと言われる
- 学校行事のグループ分けの際、「〇〇ちゃんとは一緒になりたくない」と言われる

#### 通信関係

- グループを外される
- ゲームを持っていないから遊びたくないといわれた
- SNSに悪口をアップされていた

#### 暴力

- 悪い事を注意したら、容姿に対する中傷をされ、言い返したら殴られた。
- パーカーを引っ張られ首がしまった

#### からかい

- 方言のからかい
- 発育の差

### 保護者が考えた対応策(ピンク付箋)

#### 悪口

- 学校から保護者へ連絡してもらい、保護者から子どもにいけないということを伝える
- 自分が言われて嫌なことは、相手に言わないように指導する

#### コミュニケーション関係

- みんなと一緒に遊ぶように子どもに話す
- グループの子だけと遊ぶのではなく、いろいろなお友達と遊ぶよう促す
- 自分と合わないイコール「相手が悪い」ではないということを話す

#### 通信関係

- 何時以降は使用禁止とする約束をする
- スマホの使用ルールを一緒につくる
- 使用前にトラブルにつながることもあることをきちんと説明する。
- 子どもの携帯電話やスマートフォンを親もチェックできる状態を作っておく

#### 暴力

- 大人に報告させるように伝える
- 命に関わることなので、双方の保護者に現状を知らせ、子どもに注意をする。
- 保護者同士で情報共有する

#### からかい

- 自分と異なるものをからかったりいじめをしたりすることは「差別」「ハラスメント」であるということを伝える。

### 和光市青少年育成推進委員会の提案

## いじめ撲滅のために 保護者の立場で できること

6つの  
対応策

- ① 子どもの変化をよく観察する。(部屋にこもっていないか・食欲の変化など)
- ② 子どもにとって「家庭」が安心できる場所となるよう、日頃からコミュニケーションをとる。
- ③ 「良い」「悪い」をすぐに判断しないで、まず子どもの話を聞く。
- ④ 携帯電話・スマートフォンを使用する際、家庭内でルールを作る、使用方法を子どもと一緒に確認する。
- ⑤ 金品のやりとりはしないように事前に話しておく。
- ⑥ 授業参観や懇談会などになるべく参加をし、クラスの雰囲気や保護者の目で確認し、保護者同士で情報共有をする。

【ワークショップを終えた推進員の感想】 市内の小中学校に通う保護者の方と今起きているいじめについて情報交換する場はとても貴重でした。今回のワークショップを通じ、「いじめ基本法」によると受け手側が「嫌なことをされた」と感じたら、いじめに認知されるということを知りました。受けた人がいじめだと思ったらそれはいじめになるということが当事者、保護者間でまだまだ浸透されていないように感じたため、「いじめを受けた人が嫌だと思ったことはいじめとして認知される」ということを、子供達に考えてもらうワークショップなどを定期的に取り入れ、法律が浸透していくような活動が出来たら良いなと思いました。

## 情報交換会や講習会にご参加ください!

青少年育成推進委員会では、子どもや子育てに関すること、日常生活で役立つ内容など、様々なテーマで講習会等を開催しています。

☎1月16日(水)9:30から ☎市役所6階 602会議室 ☎家庭教育アドバイザーによる講習会 ☎不要。直接会場へ

